

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	とらびっこ			
○保護者評価実施期間	令和7年1月22日		～	令和7年2月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和7年1月22日		～	令和7年2月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育や遊びを通して、子どもの心身共に成長できている。	・運動やサッカーを通じて、発達を促しているのはもちろんだが、社会スキルも身につけてもらえるようなルールを設定し、社会スキルの向上も図っている。 ・ウォーミングアップをしっかり行い、ケガ防止にも努めている。	運動やサッカーを通して、外部との交流を増やし、子どもが経験できることを増やしていく。
2	施設内だけでなく、施設外での活動も多く取り入れ、様々なことを経験できるようにしている。	・主に長期休暇時にお出かけやお買い物等などの活動を取り入れ、公共でのマナーを知ったり、お金の払い方などを学んだり、様々な経験ができるように取り組んでいる。	・現在は職員が考えるプログラムに取り組んでもらう形が多いので、今後は子どもたちが主体的に活動を考え、取り組めるような機会をつくっていきたい。
3	子どもも保護者も安心して通えている。	・子どもたちが楽しいと思える環境やプログラム作りをしている。 ・安全面についての配慮や支援ができるように、事前に危険と思われる場面を想定して相談をしている。マニュアルを作成し、研修も行っている。声掛けをすぐに行い、連携がとれている。	支援プログラムが固定化しないように、情報収集に努めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会を設けてはいるが、周知ができていないところ。	・交流する際は、連絡ノートや毎月の予定表になど記載したり、お便りに載せているがなかなか周知できていない。	・長期休暇等を利用し、活動の回数を増やしていく。 ・送迎時に活動の様子を伝えればよいが、伝え方を工夫して周知してもらえるように努めていく。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携に対する取り組みが十分でない。	・事業所として何ができるのかの検討が不十分であった。 ・1月に親子レクを開催したが、保護者同士の交流までには至らなかった。	・交流が苦手な保護者の方々もいるので、内容や頻度等の工夫を行っていく。 ・祝日等の参加しやすいように日程の工夫も行う。 ・保護者の方々のリクエストも取り入れていく。
3			